

去る7月14日午後7時30分より、まちづくりセンターに於いて、今年度の第1回「豊中駅前通りの改善に取り組む会」が開催されました。銀座通り・一番街と当協議会運営委員とで、今年度の最重要課題である「歩行者アンケートの結果を基に、

刀根山道（一番街）、銀座通り、ホテルアイボリー前の道など、通りやまちの改善に、市と協働して積極的に取り組む」ため、これからの進め方について話し合われました。今号はその内容をお伝えします。

1. 雨にも負けず健闘した「七夕まつり」

運営委員会：7月11日、第30回豊中駅前七夕まつりが開催されました。雨が断続的に降る中、昨年と同数ほどの参加者で大賑わいでした。実行委員長の東尾さんをはじめ関係者の皆様ありがとうございました。

東尾氏（銀座通り商店街理事長）：雨天で参加者が少ないと心配しましたが、大勢の方々が登場され、大変喜んでいました。七夕まつりが地域で愛され、心待ちにされている事を実感しました。先輩たちが30年前に『豊中駅前を歩行者天国に』と始められた『七夕まつり』。地域全体のお祭と位置づけ、更に発展させる



二〇一〇年  
七夕まつり

ため、まちの様々な方と協力して行きたいと思っています。

2010年7月11日



2. 歩行者に優しい「銀座通り」を目指して

東尾氏：若手商業者が、朝市の開催を検討しています。これは稲荷神社等まちの催しに合わせ、日曜日に閉店している前で、出店を検討しています。地方の物産や、まちの人達の手づくり品が良いと思います。空きスペースでのイベント等も行い、楽しく賑わいのある銀座通りを目指します。賛同者を集めるのが課題となっていますが、一番街とも連携できればと思います。

運営委員会：安全はもとより、歩いて楽しい商店街の取り組みには大いに期待します。まちづくりのネットワークを活かし、出店者や賛同者を集める事に、協力します。

東尾氏：歩行者に優しい商店街に向かって、『歩道では自転車を、押して通行してください』と呼びかけています。しかし、駐車が多く、バスも通るので、危険を感じ歩道を走ります。歩行者が安心して商店街を歩けるには、歩道と車道の間に白線を引いて、自転車専用道を作ってみてはと思います。

運営委員会：取り組む会はこのようなことを含め、歩行者が両通りをもっと往来しやすい商店街にするため、道路のあり方や使い方を検討し、実験もやってみたいと考えています。商店街各店の皆様の理解と協力が重要で、協議会も一緒に働きかけます。

3. 舗装工事に合わせて通りの改善に取り組む「一番街通り」

進行役：一番街では今回の『刀根山道の補修工事』に伴い『舗装工事検討委員会』を設置されたと聞いています。

綿谷氏（一番街商店街副理事長）：一番街の店主7名で構成し、私はその長に成りました。先日、道路維持課を訪ね、予算の範囲内で、出来るだけ良いものをとし、駅前のメイン通りにふさわしい舗装を要望しました。一番街の検討委員会で要望をまとめ、銀座通り、1丁目、3丁目自治会、協議会の5者で要望について協議をしたいと考えています。

運営委員会：一番街に検討委員会が設置された事は、住民と商業者のコミュニケーションを図る上で、大変喜ばしい事だと思います。歩行者アンケートの結果、一番街は歩行者にとって問題が多いと指摘されています。共に改善の取り組みを致しましょう。

綿谷氏：一番街の通りには課題が多いと理解し

ています。はみ出しや路上駐車に付いて、商業者同士が直接話し合いをする事はなかなか難しい事です。

運営委員会：理解できますので、改善の取り組みについて住民も参加し、まちぐるみの活動と位置づけ、一緒に考えて行く事を願っています。

綿谷氏：一番街は飲食店が増え、話し合いの時間の調整が難しい。また毎日の生活に直結した商店が少なく商店街の統一性が薄い。そのために集客力が今ひとつ弱いのではないかと思います。

運営委員会：協議会では、今年度に補修工事が始まるので、刀根山道の改善運動を最重要課題と位置づけています。協力し共に通りの改善に取り組んで行きましょう。

綿谷氏：一緒に頑張りたいと思います。

会 員 共 々、生き生きとした、誇りが持てる、安心して  
募 集 中 住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費（一口以上何口でも） 問い合わせ先：  
個人会員一口 300円 まちづくりセンター（協議会事務局）  
商店会員一口1,000円 TEL / FAX:06 - 6858 - 6190